

福祉とやま

ふれあいネットワーク (福) 富山県社会福祉協議会広報誌

No.455

2021

1月号

January



千支の型抜きアート

立山町下段地区社会福祉協議会「西部地区ふれあいサロン」

目次 contents

特集 P2~4 ウイズコロナ・続けるつながる地域のか

情報フラッシュ

県健康・福祉人材センターから P5

知っておきたい福祉情報 社会福祉施設経営相談室から
あかいはねトピックス P6

我が社会福祉法人の地域における公益的な取組
新規展示品の紹介
県への予算要望 P7

NPO法人の紹介

特定非営利活動法人 わかくさ会(魚津市)
第24回福祉フォーラム開催 P8

ボランティアグループ紹介

食育ボランティアグループ キトキトごはん氷見(氷見市)
ケンタッキーフライドチキン合意書締結 P9

企業のトップが考える「地域との共生」

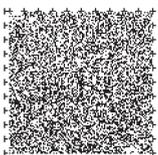
富山港湾運送株式会社取締役社長 金尾 雅行氏 P10

シニアアレント・語り部養成研修会 参加者募集

脳トレクラブによる出前体験会の案内
生命保険協会 車寄贈 P11

フリートーク

特別養護老人ホーム つまま園 主任生活相談員 鎌仲 耕平さん
県社協のおもな動き/寄付報告/編集後記 P12



スマートフォン用アプリ「Uni-Voice」
または「Uni-Voice Blind」を使えば
情報を音声で読み上げると同時に、テキストで表示されます。

 この広報誌は共同募金の助成を受けています。

ウイズコロナ・続けるつながる地域の力

猛威をふるう新型コロナウイルスの第3波。そんな中でも、社会福祉施設・事業所などは利用者へのサービス提供を止めるわけにはいきません。感染防止策など新型コロナウイルスへの対応状況や、頑張りをお伝えします。

正しいデータ・情報を素早く

感染防止に生かす

■社会福祉法人 宣長康久会
地域密着型特別養護老人ホーム
ささづ苑かすが(富山市)

感染症対策を取る中、2020年4月18日、ささづ苑かすがで介護職員1名が新型コロナウイルスに感染していることが判明しました。本人の家族が発症していることから、家族からの感染だと推測されました。当時本人は健康状態に異常はありませんでしたが、感染家族が体調不良を訴えた同月12日から出勤を停止しました。

同苑では、富山市保健所、市介護保険課と連絡をとりながら、「感染職員と濃厚接触があった職員の出勤停止」、「本人の職場である同施設の消毒」、「感染拡大防止の観点から、職員と利

用者の往来制限」、「シヨートステイやデイサービスの利用制限」などを即時実行しました。22日には、市保健所が濃厚接触者(職員4名、入居者8名)のPCR検査を実施し、24日全員陰性の連絡を受けました。



来苑者の検温

デイサービスを止めると、もともと障がいのある利用者やご家族に大きな影響が生じます。同苑ではスタッフの増員などで数日後にはデイサービス

を再開し、利用者の穏やかな日常を守りました。感染予防対策として、利用者の送迎ごとに次亜塩素酸ナトリウムによる車内消毒、車内の換気、マスク着用を徹底。来苑時の手指消毒、苑内の消毒、換気、3密を避けての着席など、感染予防に努めてきました。



手指消毒を徹底

施設長の古柴政美さんは「これまで強固に感染症対策をやってきましたが、相当な危機であることを感じました。何が起こって、どう対応しているのか、県や市、マスコミなどに包み隠さず情報開示しました。それによって利用者さんやご家族、地域の方々に安心いただきました

た。職員にはかなりのオーバーワークでストレスを感じていたと思いますが、グループ内の職員や他の特別養護老人ホームから激励を受けて、なんとか乗り切ることができましたと当時を振り返ります。



施設長の古柴政美さん



大型扇風機で換気を徹底

介護ロボットやICTの導入

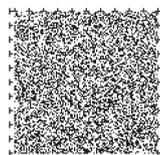
コロナ禍、心のケアも大切に

す。5月から同苑では、感染予防対策による面会制限・謝絶による不安解消のため、入居者本人の様子を家族にPCメールを利用して写真と文章で発信する「安心おたより便」、来苑した家族がタブレット端末を通して入居者と面会する「安心テレビ電話」を導入しました。

宣長康久会は、2020年12月、富山県の「がんばる介護事業所表彰(知事賞)雇用環境部門」を受賞しました。コロナ禍という逆境のなか、介護ロボットやICTの導入で職場環境改善の追加整備を行い、感染拡大防止を図りながらサービスの継続、対応状況の情報開示などを推し進めたことが受賞につながりました。

給食提供の協定締結

宣長康久会は、管理栄養士や調理職員が新型コロナウイルスに感染した場合に備え、社会福祉法人「誠心会」(富山市婦中町塚原「光風会」(同市蜷川)と給食の提供をカバールし合う協定を



結んでいます。

通常の食事であれば、24時間後には給食会社から提供を受けられますが、嚥下障害のある利用者向けの「ソフト食」は食材の手配などに日数がかかります。協定を結んだ施設では、主菜と副菜の冷凍食材を真空パック。また味付け用ソースを作ります。協力を受ける施設で調理担当ではない職員が加熱するだけで給食を出せるようにしました。

非常時でも給食を止めてはならないとの危機感から2020年5月に協定を締結。水害や地震などの災害時などにも他施設から協力を受けられる体制ができあがっています。

「こちらには、第1波の経験があります。コロナを過度に恐れず、職員自身が感染予防について高い意識を持ち、しっかりと対策を取って仕事に就くということが大切。私自身も常にアンテナを張って、正しいデータ・情報を素早くキャッチし、それに基づいて的確な指示を細かく出していくことが重要だと思っています」。

○問い合わせ先

地域密着型特別養護老人ホーム
ささづ苑かすが

☎076-4681-0000

引きこもり予防に

ふれあいサロン、いち早く再開

立山町下段地区社会福祉協議会(立山町)

立山町下段地区社会福祉協議会は、コロナ禍で4〜6月に活動を中止した「西部地区ふれあいサロン」などを7月に再開しました。

11月17日、17区公民館で行われたサロンでは、参加者が壁掛けやスタンドにもなる「千支の型抜きアート」に挑戦しました。タテ15・4cm、ヨコ10・7cmの小さな紙工芸でしたが、型抜きしたウシの愛らしい姿が印象的でした。



マスク着用でアートづくり

「非常事態宣言の発出時のようにずっと活動を止めているのもどうかという気持ちでした。中止が続くと、シニア世代は家に閉じこもりがちになり、認知症も心配されます。7月に活動が再開すると喜ばれました。10月22日に開催した「ふれあいランチ」では、グリーンパーク吉峰で紅葉観察やウォーキングなどで軽い運動を楽しみました。お互い顔を見て話したり、手を動かして何かを作ったりすることはとてもいいことです」と同協議会の事務局長、石田裕紀子さんは笑顔で話します。



千支の型抜きアート

感染防止として、サロンでは「3密を避ける」、「マスクの着用」、「手洗い」の基本を徹底。入

口で検温、体調を確認します。参加者には、風邪症状がある、においや味がいつもと違う、だるさがあるなどの体調チェックを呼びかけています。



事務局長の石田裕紀子さん

まめまめラジオ体操

下段地区社会福祉協議会で

「コロナ禍、子どもたちの笑顔、住民同士の触れ合いの場創造」

富山市

富山市蜷川地区では、蜷川小学校PTAを中心にした有志の方々が2019年8月から「にながわふれあい子ども食堂」の運営を開始しました。毎月1回(第4土曜、蜷川地区センター)を会場に食事を提供(大人300円、中学生以下無料、お菓子のプレゼントあり)しています。

子育て世代の家庭や、シングルマザー家庭などへの支援に

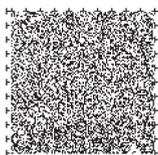
は、町地域包括支援センターが推奨する「まめまめラジオ体操」の普及にも力を入れ、各公民館で週1回程度、体操できる場を設けています。全身を動かす「ラジオ体操」、主に上半身を動かす「みんなの体操」、下半身の筋肉アップを図る「まめまめ体操」を組み合わせたもの。介護予防、体力増進にもつながると好評です。

○問い合わせ先

下段地区社会福祉協議会
☎076-4631-2597
(石田宅)

加え、同じ子ども食堂は、子どもから高齢者まで蜷川地区の住民なら誰もが利用でき、住民同士の触れ合いの場ともなっています。

子ども食堂運営委員会会長の田畑亜矢さんは、「活動のきっかけは、障がい者支援の仕事をするなかで、何らかの困りごとを抱えている家庭でごはんをきちんと食べられない子どもがいることを知ったからです。誰もが気軽に集



まり、顔を合わせて交流する場がほしいと思い、PTAに参加している友人たちに声を掛けました」と話します。



にながわふれあい子ども食堂運営委員会会長の田畑亜矢さん

炊き出し体験も実施

初開催以降、最大250食を提供し、大盛況が続いていましたが、今年度に入り、新型コロナウイルスの影響で地区センターが休館になり、4～5月は活動を休止せざるを得ませんでした。6～8月には、県共同募金会などからの助成金を活用して蛭川地区の飲食店で購入したお弁当を配布しました。

9月には「密」を防ぐため、蛭川小学校のグラウンドで日赤奉仕団の協力で「炊き出し体験」と銘打ち、カレーを作って提供しました。

10月からは公民館での調理、提供を再開させ、会食できるようにしました。再開を待ち望んでいた親子らが集い、毎回、地

区センター前に行列ができるほどの人気となっています。

企業や「リーガー」からの支援

新型コロナウイルス感染症予防として、4～5月の活動休止中には、同子ども食堂のメンバーが布マスク1000枚を作り、蛭川小学校や地区内の保育園、幼稚園3園に寄贈しました。



消毒液でトレーを拭く

食堂再開後は、入口での検温、体温確認、受付名簿の記入、マスクの着用を含む咳エチケットや手洗い、アルコールによる手指の消毒、清掃の徹底、テーブルやイスなどの共有物の清掃、ボランティアスタッフ・参加者同士のソーシャルディスタン

スの徹底などを図りながら、運営しています。

「感染予防のためのマスクや消毒液、お弁当の箱代などの経費が増えている、やりくりが大変です。野菜やお菓子類などはほとんどが蛭川地区の人たちからのいただきもの。SNSでも食堂の活動を理解くださった企業や農協さまからのものもあります。食材の出費は食肉くらいで、助かっています」。



ボランティアスタッフも大忙し

食肉の購入を自己財源で賄っている同子ども食堂にとつてありがたかったのが、ケンタッキーフライドチキンを運営する日本KFC（横浜市）から冷凍した調理済みチキンを提供されたことです。サッカーJ3・カタレ富山の椎名伸志選手が県内の子ども食堂への支

援を願い出て同社との食材提供協定を締結したことから実現しました。（9ページ参照）
同子ども食堂では、9月に提供されたチキンを使ったカレーを振る舞いました。子どもたちの笑顔を生み、食品ロス削減にもつながりました。



蛭川地区センターで会食

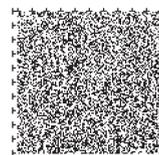
○問い合わせ先
にながわふれあい子ども食堂(田畑)
☎090177418629

＼まとめ＼

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、医療や介護に携わる人たちの精神的ストレスや苦労ははかり知れません。人の命や生活を守るという崇高な使命感にエールを送りたいと思います。また、3密を避けることやマスクの着用、手洗いの励行の大切さをあらためて感じました。

お知らせ

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う緊急貸付について、受付期間を3月末まで延長します。
相談・申し込みはお住まいの地域の市町村社会福祉協議会までご連絡ください。



県健康・福祉人材センターから

介護福祉士の
お守り、
できました。



2017年
4月1日

介護福祉士
資格保有者を
生涯支える

離職時の 届出制度 スタート

支障なく、生涯支えるための
★サービス★ ★制度★ サービス★

17名の“がんばりすと”が表彰されました!

令和2年11月7日(土)、富山県民会館において「がんばる介護職員応援事業 第7回表彰式」が行われ、県人材確保対策会議の宮田伸朗会長から表彰状が授与されました。

この表彰は、介護の職場において、福祉の専門性に基づく利用者本位の視点に立ち、新任職員など後進の指導や職場のチームワークづくりに積極的に取り組むとともに、いきいきと元気に活躍している方を表彰することにより、介護の仕事の魅力ややりがいを伝え、その社会的評価の向上を図るものです。

表彰式後の記念講演では、「ぶれない私 ぶれない介護」と題し、県社協・県福祉カレッジの田中雅子教授から、介護の原則や中堅職員として必要な心構え、倫理観について、ご自身の実践や時事問題も踏まえながら話されました。

「がんばりすと」の皆さんの今後ますますの活躍が期待されます。

なお、17名の「がんばりすと」は、人材センターウェブサイトからご覧いただけます。(「介護のがんばりすと」で検索してください。)



表彰式



記念講演

介護や保育の仕事へ再就職される方を 応援します!

① 離職介護人材再就職準備金

●対象 介護職員等として実務経験が1年以上ある介護福祉士・実務者研修修了者・介護職員初任者研修修了者のうち、県内の居宅サービス等を実施する事業所等に新たに就職する方

●貸与金額: 400,000円以内

●返還免除: 介護業務に2年間従事して全額免除

② 潜在保育士就職準備金

●対象 3か月以上保育士として勤務していない又は保育士として勤務した経験がない方で、県内の保育所等に新たに勤務する方

●貸与金額: 200,000円以内

●返還免除: 児童の保護等の業務に2年間従事して全額免除

※①、②共に、申請は随時募集しています。ご利用にあたっては、事前に当センターへの求職登録等が必要です。詳細は下記までお問い合わせください。

はじめての福祉の仕事 サロンを開催します!

参加者
募集!

福祉の仕事についての基本的な内容や現場の状況などについて、キャリア支援専門員がていねいにお答えします。気軽な気持ちで参加してみませんか。

●日時 1月28日(木)、2月25日(木)
いずれも13:30~16:00

●会場 サンシップとやま

●定員 各月10名(先着順)

事前に下記へご連絡ください。

福祉・介護の 求人情報を WEBで!



FUKUSHI-JOB SEARCH
福祉のお仕事

お気に入りへ登録!

福祉のお仕事



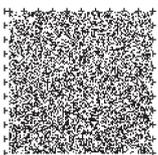
福祉の職場を目指すあなたを応援します!

参加希望
問い合わせ先

県社協
県健康・福祉人材センター
県保育士・保育所支援センター
TEL 076-432-6156

【開所日】月曜日~金曜日
(土・日・祝日および年末年始を除く)

【受付時間】 8:30~12:00
13:00~17:00



社会福祉施設経営相談室から

「公表」に関する規定

中村 厚(公認会計士・税理士)

社会福祉法においては、運営の透明性の確保として「所轄庁への届出」及び「情報の公開等」が定められています。計算書類等や財産目録等の備置き及び閲覧等も運営の透明性の確保に係る事項ですが、今回は運営の透明性の確保として「公表」制度を中心に説明します。

社会福祉法第59条の2条1項では、次の区分に応じ、遅滞なく、厚生労働省令で定めるところにより、次の事項を公表しなければならぬとされています。

区分	公表事項
設立時の定款認可(第31条第1項) 定款変更の認可(第45条の36第2項) 定款変更の届出(第45条の36第4項)	定款の内容
理事、監事、評議員に対する報酬等についての「支給の基準」について評議員会の承認を受けた場合(変更の承認も同様)(第45条の35第2項)	当該承認を受けた「報酬等の支給の基準」
毎会計年度終了後3月以内に所轄庁へ届出る 次に掲げる書類(第59条)	左記の書類のうち厚生労働省令で定める書類の内容(規則第10条第3項)(法人の運営に係る重要な部分に限り、個人の権利利益が害されるおそれがある部分を除く)

計算書類等 計算書類 事業報告 附属明細書 監事監査報告 (会計監査人)会計監査報告	財産目録等 財産目録 役員等名簿 報酬等支給基準 事業の概要、その他の厚生労働省令で定める事項を記載した書類	計算書類等 計算書類	財産目録等 役員等名簿 「現況報告書」事業の概要、その他の厚生労働省令で定める事項を記載した書類(「社会福祉充実額の算定の根拠」「事業計画」を除く)
--	---	----------------------	---

なお、「公表」は、インターネットの利用により行う。とされていますが、「財務諸表等電子開示システム」による公表であっても、公表を行うもののみならず、実務的にはこの方法で行うことがほとんどです。

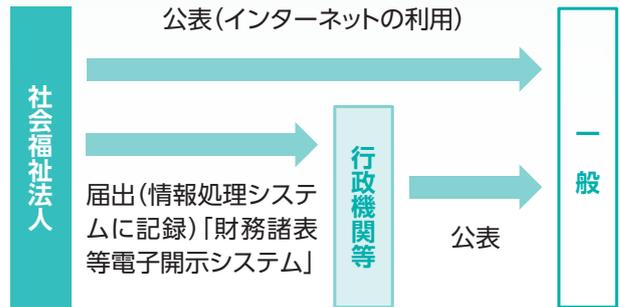
「財務諸表等電子開示システム」に登録された情報については、以下のとおり、一部個人情報等を除き、WAM NETで公表されることになっています。

財務諸表等電子開示システムでの公表情報

現況報告書	計算書類(注記含む)	社会福祉充実計画
定款(注)	役員等名簿(注)	報酬等の支給の基準(注)

(注)「定款」「役員等名簿」「報酬等の支給の基準」については、従来は財務諸表等電子開示システムでの公表対象ではなかったため自法人のホームページ等で公表する必要がありました。しかし、令和元年度よりこれらについても財務諸表等電子開示システムで公表できることとなりました。

上記を図示すると次のとおりです。
公表(インターネットの利用)



あかいはねトピックス



第74回赤い羽根共同募金運動について

第74回となる赤い羽根共同募金運動が「じぶんの町を良くするしくみ。」をメインテーマに、10月から展開されました。(11月30日現在集計65,631,279円)

県民の皆様方からの温かいご支援を賜り、関係者一同心深く感謝しております。

お寄せいただきました募金は、令和3年度に県内の福祉施設や福祉関係団体、NPO、ボランティアグループが行う地域福祉活動等に助成し、高齢者、障がい者、子どもたちなどを支援する活動に役立てられます。また、災害時には、「災害ボランティアセンター」の設置や運営など被災地支援にも使われます。

12月1日から25日まで実施されたNHK歳末たすけあいの

寄付金は、県

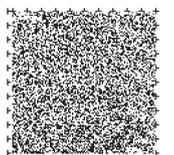
内の高齢者・障がい者・児童福祉関係施設等の年末年始の事業や、障がいのある方の就労支援を図るための備品整備等に役立てる予定としております。

テーマ型募金が始まります

テーマを設けて地域課題や社会課題解決に取り組む「テーマ型募金」を左記のとおり1月1日から3月31日まで実施します。ご支援をよろしく願います。

- **福祉食堂の起ち上げ支援募金**
滑川市共同募金委員会
TEL076-4757000
- **あつたか雪募金(豪雪地における独居高齢者等の除雪支援)**
黒部市共同募金委員会
TEL076-5541082
- **地域食堂支援募金**
立山町共同募金委員会
TEL076-4633356

○ 問い合わせ先
県共同募金会
TEL076-431-9800
Eメール: [http://www.akihane@amca.jp](mailto:akihane@amca.jp)



我が社会福祉法人の 地域における公益的な取組

社会福祉法人 若杉児童福祉会(上市町)

若杉児童福祉会は昭和55年に設立し、翌年に3歳未満児専門の若杉愛児保育園を開園しました。平成19年には上市町初の民営化である宮川保育所を受託し、その翌年に民設民営、平成28年度から幼保連携型認定こども園の認定宮川こども園に移行しています。また、平成22年から園舎内で子育て支援センターありんこひろばを開設、翌23年からは園の向かいにあるJAアルプスの2階に移設し、町内外の子育て中の親子に利用していただいています。ベビーマッサージ教室や人形劇、パネルシアター、絵本の読み聞かせなどは年間を通して行いながら、夏は屋上でのんびりと水遊びをしたり、季節に応じて遊べる玩具の制作も親子で取り組んでもらったりしながら、利用者同士や保育教諭との会話や相談の中で、子育ての不安を解消できる憩いの場となっています。

若杉愛児保育園は平成22年から



ありんこひろば

よびよ広場を開始し、園庭や保育室の開放や園行事への参加から、看護師による育児健康相談や栄養士によるアレルギー相談をはじめ未滿時期の子育てが楽しくなる工夫を、また平成24年度からは病後児保育事業を開始し、町内外から多くの園児や児童をお預かりしています。

宮川こども園は、高齢者施設への訪問や地域の色々な行事にも参加しています。今年はコロナの影響もあり、他への訪問は限られてしまいましたが、鼓隊演奏やよさこいなどを披露して喜んでいただきました。隣接している公民館の行事や町の文化祭などにも積極的に参加しています。



高齢者施設訪問

両園とも14歳の挑戦や高校生の保育士体験、保育士養成校からの実習も積極的に受け入れていきます。同じ学区内にありながらもそれぞれの特色を発揮しながら、今後も地域に根差し、常に笑顔が絶えない愛される園として努力してまいります。

福祉用具展示品のご紹介

当センターでは、高齢者や障がいのある方の在宅生活が、より豊かで快適になるよう、ご本人に適切な福祉用具の選び方や住まいづくりなどに関するご相談をお受けしています。また、必要に応じて自宅へ出張相談(無料)も行っています。

今回は、当センターの展示品の中から、今年新たに展示した2点を紹介します。

流せるポータくん3号 洗浄便座付キタイプ



ベッドサイドに置ける水洗式のポータブルトイレです。バケツ式と違い、ポンとボタンを押すだけで、水が後片付けをしてくれます。利用後すぐに処理できるため、居室内の臭いもなくなり、家族に遠慮する必要もなくなり、本人のQOL(生活の質)向上やADL(日常生活動作)低下防止だけでなく、バケツを持ち運ぶ必要がないため、介護者の介護負担軽減にも役立ちます。

【メーカー】株式会社アム
【参考価格】348,000円(税抜)

カーボン四点式 フラットグリップ



本体はカーボン製で約490gと軽量の杖です。握り心地を良くするクッションと着脱可能な樹脂製のグリップカバーと幅広いグリップ形状で、手のひらに馴染み、痛みを軽減します。調節することで、左手用・右手用と簡単に切り替えることができ、長さ調節も可能です。

【メーカー】株式会社島製作所
【参考価格】20,500円(非課税)

○問い合わせ先
県社協 県介護実習普及センター
076-1432-6305

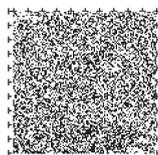
富山県に令和3年度 予算要望書を提出

11月12日(木)、県社会福祉協議会(県社協)は、富山県庁において、石川県厚生部長に令和3年度予算要望書を手交しました。

県社協の岩城勝英会長が、「新型コロナウイルス禍における福祉の継続提供に向けた支援」、「身近な地域における総合相談体制の構築による包括的な支援の提供」、「地域の福祉生活課題の解決に向けて連携・協働して取り組む社協・社会福祉法人の活動推進」、「災害時に対応できる地域づくりの推進」などの要望内容を説明しました。



岩城会長(右)が石川県厚生部長(左)に
予算要望書を手交





その人らしさを大切に いきいきと活動

特定非営利活動法人わかかさ会(魚津市)

放課後等デイサービス37人、就労継続支援B型16人、生活介護18人、指導員23人。わかかさ会では、個性豊かな94人の仲間たちがいきいきと活動しています。理事長の林久嗣さんに活動への思いを伺いました。

Q 設立の経緯は？

魚津市手をつなぐ保護者会が運営主体となり、18歳以上の精神障がい者を受け入れる施設として、1980年、「わかかさ作業所」を開設。特別養護老人ホーム(新川ヴィラ)に間借りし、同ホームの入所者の洗濯物の整理作業などを活動の中心にスタートしました。以降、利用者が自立に必要な知識・技能、態度の向上育成を図ることを目的に、軽作業に従事する場を提供しています。

2007年に「NPO法人わかかさ会」を設立し、09年に「わかかさランチ」の営業、14年に児童生徒を対象にした「放課後等デイサービス(こころ)」を始め、15年には「わかかさ会本部事業所」を魚津市大光寺に新設しま



創設者・米田文子さんからのメッセージ

Q 現在の活動は？

利用者それぞれの個性を大切に、個に応じた支援に努めています。身の丈にあつたさまざまな活動を通して、一人一人の持てる力を発揮できるよう、ゴールを急ぎません。内職などの活動では、作業段階を細分化し、要介護者も得意な分野で積極的に活動に取り組んでいます。

広報のチラシ折



わかかさランチでの弁当づくり



折り込みチラシなどの作業

Q 今後の活動、目標は？

「本人の意思決定の場面を大切に、社会参加を支援する」を目標に、就労継続支援B型の活動では、地域の方々との交流場面を大切にしています。中でも、弁当の販売には、3〜4人の利用者が関わり、指導員とともに献立、チラシ、調理、盛り付け、配達など二連の活動場面で地域の方々との交流を大切にしています。

弁当の配達では、弁当を注文した方々の体調などの変化に配慮できるよう心がけています。わかかさ会がかかわるすべての方々の、その人らしさを大切にしたいですね。



理事長 林久嗣さん

〇問い合わせ先

NPO法人わかかさ会
魚津市大光寺1010-14
理事長 林久嗣さん
☎0765-5514126

第24回「福祉フォーラム」開催



パネルディスカッションの様子

富山県民福祉推進会議では、地域共生社会の実現に向けた地域での支え合いをコンセプトとし、「みんなで支えよう！知ること」で「ヒトゴト」が「ワガコト」に変わる!!をテーマに、11月14日、県総合福祉会館において、パネルディスカッションを行いました。

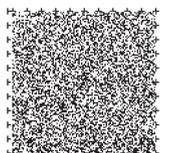
パネルディスカッションでは、とやま大地の会ピアサポーターの米谷豊氏、高岡市のコミュニティハウスひとのま代表の宮田隼氏、氷見市社会福祉協議会事務局次長の森脇俊二氏、コーディネーターとして、富山国際大学子ども育成学部

の村上満教授が、誰もが安心して暮らせるまちづくりについて討論しました。

今年度も、「令和2年度福祉用具・アイデアコンクール」の表彰式と作品展示を同時開催し、入賞作品の発表会では、入賞者が、自分の作品の工夫した点などについて発表しました。また、第22回「やさしい福祉のまちづくり賞」表彰式では、左記5団体が受賞しました。

賞

- 富山県厚生農業協同組合連合会滑川病院 (滑川市)
- 株式会社 野上緑化 (富山市)
- 小・中・高生ボランティアスクール実行委員会 (上市町)
- 暮らしのサポートセンター (高岡市)
- リボンfromとやま (富山市)





料理に挑戦する未就学児をサポート たくましく生きる力を育てる

食育ボランティアグループ「キトキトごはん氷見(氷見市)」

寒ブリやイワシなどの海の幸、山菜、キノコなどの山の幸に恵まれた氷見市。「キトキトごはん氷見」は、同市の豊かな食文化を子どもたちに伝えていこうと、2008年に発足しました。現在、男性含め23名が所属。市保育園・幼稚園の年長児や2〜3歳児を対象とした「きときとキッズお料理道場」のサポートが活動のベースになっています。また、日用品を活用して災害に備える「日常からの防災」の普及にも注力しています。

お料理道場では、「汁二菜のメニューとして「豆腐のみそ汁」や「お鍋で炊くご飯」、「氷見の魚を使った料理」などをつくります。子どもたちは本物の包丁を使いながらの「豆腐の手の上切り」にも挑戦。ドキドキしながらも包丁を握りしめ、集中して無事切り終えた後は、思



食材の特徴を実物や写真で紹介

わず笑顔に。氷見特産のナガラモを煮ると、茶色から緑色にぱっと変わる瞬間があります。ガラスの鍋でお米を炊くと、ブツブツと一粒粒が膨らんで、ご飯に変わる様子が分かります。子どもたちは目を輝かせて、その瞬間を見つめます。



竹皮におにぎり、おかずを盛り付け

「キトキトごはん氷見では、料理という五感体験を通して、子どもが育むたくましく生きる力を大切にしています。昆布や煮干しの匂いを嗅いだり、魚や野菜に触れたり、味わったりする中で、子どもたちは四季の移り変わりを感じてくれるでしょう。五感を通じて料理を学ぶことが、感性を育むことにつながっています」と代表の梶明美さんは力を込めます。



代表の梶明美さん

スタッフはあくまで黒子です。子どもたちが安全に自分で調理できるよう作業の環境を整え、サポートに徹します。「最初から最後まで全部自分でしたよ」という達成感が自信につながり、子どもたちを大きく成長させてくれます。



スタッフは黒子に徹する

〇問い合わせ先

キトキトごはん氷見

代表 梶明美さん

TEL 0766-74-5345

日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社と 子ども食堂等への食品提供・譲渡に関する 合意書を締結しました。

富山県協会は、令和2年10月26日、日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社(本社・神奈川県横浜市、以下「日本KFC」)との間で、富山県内の子ども食堂等へ日本KFC直営店舗における調理済みチキンを適切な管理の下、食材として提供支援することに関する合意書を締結いたしました。



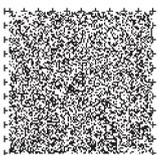
合意書を掲げる新日本KFC広報部長(中央)カターレ椎名選手(右)、車庫社協専務理事(左)

調理済みのチキンは、カレーライスやスープなどアイデアしだい様々な料理に使用できます。食肉の購入を自己財源で賄うことが多い子ども食

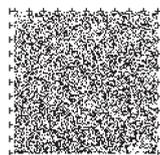
堂等にとつても、大手外食企業による継続したバックアップは大変ありがたいもので、昨今の食品ロス削減とも相まって、今後、全国に支援の輪が広がることを期待されます。

また、今回富山県での食材提供支援にあたっては、サッカーJ3カターレ富山の椎名伸志選手が、日頃からお世話になっている富山と富山の子もたちに恩返ししたいとの思いから日本KFC、富山県協双方に働きかけてくださり、実現に向けて多大なるサポートをいただきました。

今後、調理済みチキンを冷凍保存するサテライト・デポの開拓と利用を希望することも食堂等のマッチング及び衛生管理指導などを行い、県内に支援の輪を広げていく予定です。



企業のトップが考える「地域との共生」



富山港湾運送株式会社
取締役社長

金尾 雅行氏



荒波を乗り越えて世界へ

中国の急速な経済成長に伴い、日本全体が北東アジア、東南アジアとの貿易量を増やしています。当社もそうです。米
国と中国の軋轢が増していますが、日本にとって中国は地政学的にも無視できない国。広い
国土、14億の人口、資源、急速に成長している技術力、巨大な
マーケットは貿易面で魅力的
です。中国は強国としての覇権
を求めて、世界中に圧力、影響
力を及ぼしていくでしょう。

かなものかとは思いますが。地域の繁栄のためには開かれた国でないといけません。保護主義では成り立っていかないと
思います。

日本のような資源小国は貿易を抜いては成り立ちません。国としての誇りを保ちながら、中国にいかに対応し、共生していくかが問われています。

今後、中国は内需拡大に向かうでしょうから、貿易面がさらに重要になっていくでしょう。思ってもみなかったものが日本から輸出されるようになってきました。たとえば、日本の国産材、内地材。中国は自国の木材伐採について厳しく規制をかけているようです。いまままでこういったものの取り扱いはありませんでした。逆転現象です。当社のグループ企業でも中国への国産材の輸出を手掛けるようになってきています。

世界に開かれた港 社会の重要なインフラ

一般の方にとって、港の機能は分かりにくいと思います。港と言えば、客船、観光船と、観光の視点からしか見ていただけないからかもしれません。港の施設にあまり馴染みがないからかもしれません。原材料などの受け渡し機能、物流機能としての関心はお持ちでしょうか。空港にもいろんな物が入ってきますが、物流面から見ると、港のほうが取扱量については圧倒的に大きい状況です。

東日本大震災では、多くの物資が港経由で陸にあがりまじったと聞きましたが、船は接岸できたようです。

港は世界へのゲートウェイ。社会インフラとしての港の重要性をもっと一般の方に感じてもらい、親しんでいただければと

思います。

一方、港のある地域の活性化は、観光面だけではないと思います。そのエリアで生活している方が生きがいを持ち、充実した生活を送られているかどうかです。

「迅速と誠実」モットーに

当社は1948年に創立し、今年で73年目を迎えます。戦後の復興期から今日にいたるまで、陸・海における運送業を軸にしてきました。富山市岩瀬の富山港では原材料を扱うケースが多く、素材をお客さまであるメーカーに納めるのが主な業務です。

企業理念は、「迅速と誠実」。これをモットーに、公共的な使命を果たすということです。仕事を通して、従業員が自身の人格向上に努め、自社の発展に寄与し、社会に貢献すること。常

に当時者意識をもち、いろんな環境で幅広い経験をしてほしいと思っています。そして、原理原則を外さないこと。これを外して何かをすると、元に戻すには何倍もの労力が必要になります。良い企業人であるためには、良い社会人であることが大切です。従業員には、高い志を持って業務にあたってほしい。そうすることで、全人生を通じていい結果につながっていくと思います。

海を離れては、当社の将来展望は描けません。港周辺での立地を含め、ある面では当社の強みですから。それを事業基盤にすること、近海輸送などを含め、海上輸送をより充実させていくということが大きな目標です。そして、次の世代へと引き継いでいきたいと思っています。

シニアタレント・語り部 養成研修会参加者募集

あなたの「芸、経験を
社会に役立ててみませんか

【対象】

60歳以上で、長年にわたって
培った知識・技能を地域社会で活
用し活動する意欲のある方80名

【日時】

令和3年2月12日(金)
午後1時～午後4時半(予定)

【会場】

サンシップとやま福祉ホール

【内容】

コミュニケーションに関する講義
高橋美保子氏(ラリアーナカウンセ
活動事例発表)シニアタレント2名

【研修会参加費】無料

【申し込み】

郵便はがきに郵便番号、住所、
氏名、生年月日、電話番号、活動
分野を記入の上、本会「シニアタ
レント・語り部研修会係」まで

【締め切り】

令和3年1月12日(火)



昨年の研修会の様子

シニアタレント・語り部を地域
の行事・子供の活動などに紹
介・派遣しています。

楽しく愉快に認知症予防 脳トレクラブの出前体験会

県内11の脳トレクラブは、県
社協または市町社協が開催し
たりーダー養成講座の修了生
が主体となって設立され、各市
町社協のボランティアセンター
に登録されています。地域の要
請に応じて、問題の出題、頭を
使った手遊び、レクリエーショ
ン、体操など、趣向を凝らした
約1時間の楽しい出前メニュー
を提供しています。

【出前体験会の要請】

各市町社協または長寿セン
ターにご相談ください。

【ウエルシア薬局での体験会】

コロナ禍の中、シニアの方の
身体及び認知機能の低下を防
ぎ、脳トレを通じた居場所づく
りを推進するため、各地域の脳
トレクラブが、店舗内の交流ス
ペース「ウエルカフェ」で、下表
のとおり開催します。参加のお
申し込み
は、1月
10日(日)
から各店
舗で受け
付けます。
(定員あ
り)



昨年のウエルカフェでの体験会

店舗名	日時	運営	店舗名	日時	運営
富山奥田店	2/16 10:00	富山いきいき脳トレクラブ	黒部三日市店	3/15 10:00	くろべ脳トレクラブ
富山本郷店	3/16 10:00		黒部生地店	2/15 10:00	
富山中川原店	2/24 10:00	いきいき脳トレクラブ	砺波中神南店	2/16 14:30 3/16	となみ野脳トレクラブ
高岡江尻店	2/16 10:00		砺波十年明店	2/15 14:00	福岡いきいき脳トレクラブ
高岡姫野店	3/15 14:00	いみず脳トレクラブ	南砺福野店	3/15 14:00	おやべ脳トレクラブ
魚津吉島西店	2/15 15:00 3/15	滑川キラリン脳トレクラブ	かみいち総合 病院前店	2/15 11:00 3/15	上市つるぎ脳トレクラブ
氷見窪店	3/15 10:00	氷見きときと脳トレクラブ	富山立山店	2/15 10:30	脳トレ立山

●問題例(出典:脳トレ立山)
2つの都道府県名がかかれて
います。



○問い合わせ先

県社協いきいき長寿センター
076-43216010

お客様や従業員様の為に ウイルス対策しませんか？

シリコンバレーが開発した
世界最強レベルの空気清浄機 **エアドッグ**

※1 通常販売価格128,000円(税抜) ※AirdogX5s
今なら **96,000円(税抜)**

※お申し込みは右上のQRコード or WEBからも可能です
Airdog <https://www.toconnect.co.jp/shop/g/gAIR-X5-BITS010/>

- 0.0146μmウイルスを99.8%除去 適用床面積42畳！
- フィルター交換不要(清掃のみ)ランニングコスト0円
- 医療従事者が選ぶ空気清浄機 1位！※2

※1 微細粒子の除去能力とフィルター性能低下率をもとにした能力 提供元:ゼネラルリサーチ
※2 全国の20代~50代の男女(医療従事者) 1042名への空気清浄機10商品を対象にしたサイト比較イメージ調査

お問合せ先 ⇒ **050-5491-2298**

平日9時~17時45分対応 No.109549

お問合せ時「福祉とやま」掲載の広告を見た！」とお伝え下さい。

BUFFALO IT Solutions 販売会社 : 株式会社トゥーコネクト 東京都港区新橋2-9-16-7F
営業受託会社 : 株式会社バッファロー・IT・ソリューションズ
甲信越営業所 長野県長野市大字県町484-1-4F 担当: 田中・北村

県生命保険協会より高岡市社協へ福祉巡回車を寄贈

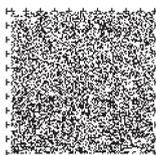
10月26日、県総合福祉会館におい
て、生命保険協会富山県協会(以下、
県協会)より、高岡市社協に福祉巡回
車の贈呈が行われました。

県協会による車の寄贈は平成4年
度より行われており、今年度まで、あ
わせて52台が贈呈されました。

贈呈式では、趣旨説明があった後、
県協会の宇田正孝会長と小川忍副会
長より高岡市社協の尾崎憲子会長と
木田義弘事務局長へ目録とキーが手渡されました。
福祉巡回車は高岡市社協において、地域の成年後見
制度利用者宅への訪問や地域巡回に利用されます。



左から高岡市社協木田事務局長、尾崎会長、
県協会宇田会長、小川副会長



県社協のおもな動き

1月日程	行事名	場所
15(金)	日常生活自立支援事業契約締結審査会	サンシップとやま
21(木)	障害者工賃向上支援事業 施設外就労研修	サンシップとやま(オンライン)
28(木)	健康・福祉人材センター はじめての福祉の仕事サロン	サンシップとやま
29(金)	社会福祉協議会地域福祉実践研究発表会	高志会館

2月日程	行事名	場所
5(金)	日常生活自立支援事業契約締結審査会	サンシップとやま
9(火)	キャリアパス生涯研修課程管理職員研修(~10日)	サンシップとやま
12(金)	CSWフォローアップ研修会	サンシップとやま
15(月)	社会福祉法人監事研修	サンシップとやま
16(火)	社会福祉法人監査指導担当者研修	サンシップとやま
18(木)	運営適正化委員会第6回苦情解決部会	サンシップとやま
19(金)	健康・福祉人材センター はじめての福祉の仕事サロン	サンシップとやま
25(木)	市町村社協専務・常務、事務局長会議	サンシップとやま

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、変更する場合があります。

ご寄付ありがとうございます。

●寄付者一覧 10月1日から12月16日まで

- 日本海ガス株式会社 様 100,000円
- 故 布目トミ 様 100,000円
- 匿名 100,000円 ●匿名 100,000円
- 匿名 20,000円

12月16日(水)、日本海ガス株式会社
 取締役 エネルギーソリューション本部長
 高野光由様(左)から県社協 車司専務理事へ
 「2020大感謝SALE」の収益金から寄付金を贈呈



編集後記

取材で料理や食べ物の力をあらためて感じました。美味しいものを食べると、人は自然に笑顔になれます。幼児でも大人でもそれは同じ。「ちょうだい」と母親にせがむ、幼児の愛らしい笑顔に心も明るくなりました。一方、コロナ禍の不況などで満足に食事できない人が増えているようです。スナック菓子でおなかをふくらませる子ども、食事を与えない親。なんとか早く笑顔を取り戻してほしいですね。

Free Talk

フリートーク

人との新しい繋がり方



特別養護老人ホーム つまま園
 主任生活相談員 鎌仲 耕平さん

昨年、新型コロナウイルスの影響にて自粛を迫られ、多くのイベントや行事が中止となりました。毎年開催されていた地元のお祭りも中止となり、人との繋がりが希薄になるような感覚になりました。共に活動し、ふれあうことで体感が生まれ、人が繋がっていくことを実感しました。

私生活では外出が少なくなり、人との機会も激減しました。補うようにスマホやパソコンにて、チャットアプリやリモートを使用し、画面を通じて話をする機会が増えていきました。富山県老人福祉施設協議会21世紀委員会では、有志メンバーが集まりチャット

アプリを活用しています。昨年4月頃より、グループ通話機能を使用し、感染対策の情報交換を行い、抱える孤立不安を解消するとともに、錯綜する情報の整理ができました。

その繋がりを基に新たな出会いにも恵まれ、8月には県内施設対象に、感染対策研修会をリモートにて開催することができました。現在も情報交換は続いており、ご利用者様の多様なニーズへの対応等を話し合っています。特に印象深いものとしては、お店側の了解を得て、高齢者がリモートを使用し、画面越しに選んで買物物ができたという実体験です。自施設でも実

行でできるのではないかと、諦めていた地域とのふれあいについて、希望を見出すことができました。これも日々の繋がりがあったからこそと思います。

ウィズコロナの生活であっても、新たな方法で、人と人は繋がりを持つことができます。何か始める事は億劫になります。挑戦してみることで、出会いがあり、その繋がりに、周囲の人や自分の環境を良くするアイデアがもらえるはず。閉ざされることなく、一歩を踏み出す時かもしれません。

本誌に関するご意見・ご感想をお聞かせください。
 ●ウェブサイト <https://www.toyama-shakyo.or.jp/>  アクセスしてね!
 ●メール info@toyama-shakyo.or.jp
 ハーティは富山県のボランティア活動のマスコットマークです。  ハーティ

社会福祉法人 富山県社会福祉協議会は
 住民主体の地域福祉の理念に基づき、だれもが安心して暮らすことができる福祉社会の実現をめざし、県内の民生委員・児童委員、福祉施設、福祉従事者、ボランティア等で構成する、公共性と自主性をもつ民間社会福祉組織です。

